

奨励賞



徳田義弘

設計者

徳田義弘

富山県建築士会、(株)創建築事務所



山中路代

共同設計者

山中路代

富山県建築士会
(株)創建築事務所



小林純子

小林純子

東京建築士会
(有)設計事務所ゴンドラ

近藤道男

東京建築士会
(有)近藤道男建築設計室

長澤 悟

東京建築士会
(株)教育環境研究所

児童・教育施設

新潟県糸魚川市中央



近藤道男



長澤 悟

糸魚川市立糸魚川小学校・ 糸魚川市立ひすいの里総合学校

構造・階数

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
地上2階、屋上1階建て

敷地面積

26,328.67㎡

建築面積

5,795.18㎡

延床面積

9,165.80㎡

竣工

平成26年3月11日



A



C



B

- A 外観正面。中央には赤レンガ車庫をイメージした昇降口
 - B 中庭。正面からの開放感があり、子どもたちの安全を確保
 - C 多目的ホール。アール形の吹抜けと開放的な階段の設置
 - D 多目的ホール。中庭に面したアルコーブで学ぶ子どもたち
 - E 図書室。小上りの畳、階段ベンチなどにより、楽しく読書
 - F オープンスペース。柱や梁、ルーバーは地元の「越後杉」
 - G 芝生の中庭。芝生広場で、思いっきり走り回る子どもたち
- 写真撮影...内山昭一

選評

市立小学校を中心として、特別支援学校や学童保育施設など多様な条件の児童たちを包含している。四面にまったく塀を持たず、セキュリティに配慮しつつ正面から中庭までの視点を大きく繋げた開放的な小学校である。街なかに溶け込む2階建ての校舎であるが、吹き抜けを有効に用いた空間の繋ぎやメリハリのある高低、外への開放感が巧みで、のびのびとした印象である。

多様な学習形態を想定したスペースが用意されているが、それらが有機的に段階的に繋ぎ合わされることで流動的、効果的な使用が想定できる。また、各教室前には学年ごとのオープン

スペースがあるが、相応の意味機能を付加されていることで使い勝手の良いオープンさを生んでいる。低学年棟では上がり框を介した4畳半程度の小室がついており、子どもたちによる話し合いに好んで利用されている。随所に工夫があり楽しい。たとえば、女子トイレが開放的かつ大きいのは、女子のコミュニティスペースとしてのトイレ空間を検討した結果であるという。

経験に裏打ちされた設計者たちと使い手側との共同作業が有効に働き、いずれの空間も有効に活用されている。

(中谷礼仁)



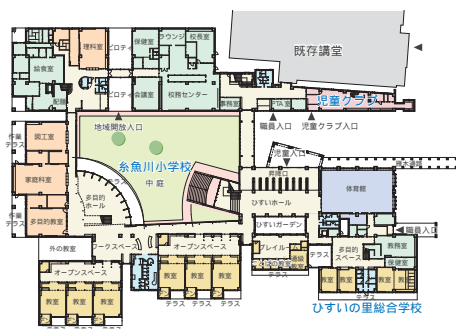
D



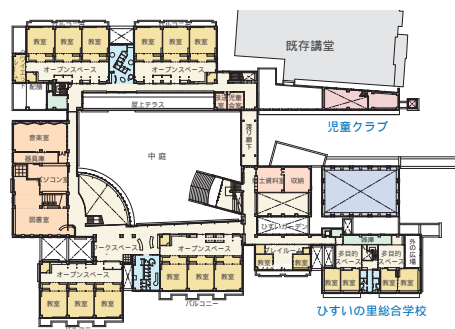
E



F



1階平面図



2階平面図



G